





仙婦 龜井 幸枝

修シテ他ヲ卑シムル。  
学・修ト諧ワズ。修行者(菩薩)と  
王舍城

私の幼いころの思い出のなかに、必ず頭をかすめるのは、今は亡き祖父と祖母のことです。祖父と祖母とのまん中で、両手をひかれてお寺参りに連れていつてもらつたこと。

今日は尾崎の善立寺、今夜は島の西宗寺。遠くは鳥居の長専寺までもついて行つたことでした。ついて行つたのは、思えば小さな私だけではありませんでした。たしか私の姉と同級の人や、四人ばかりがいつもついていたのだと思います。

もちろん法話の内容がわかるはずはありません。でも、なんとなく、あたたかなその場の雰囲気が大好きございました。

祖父も祖母も、寺参りの好きな私を格別にも可愛がつてくれたことを憶えております。

戦前から戦中にかけのあの時代。祖父母の生活は今にして思えばとても苦しくらしであります。そんな苦しく悲惨な生活のなかで、せめては報恩誦や永代經などで、ご法話を聞かせていました。それが、いちばんの安らぎであり楽しみでさえありました。

その祖父も祖母も、同じ年になくなつて、それからはや、四十数年になります。

こんな具合で、幼いときから、お寺とお念佛と一緒にご縁をいたどいた私は、この上もない幸福者であつたと、いまつくづくと思つてるのでございます。

勝林寺の掲示板にいま

## 焼香台・香炉の特別寄付

出石は今や観光地。毎日沢山の人々が勝林寺にもおとれます。本堂正面「向拝(コハイ)」にお焼香台を設けてはと今年の代議員会で話が出ていましたが、さつそく八鹿の田中保夫様が立派な焼香台と香炉を特別寄進くださいました。以後益々参拝者が増加しております。「一口法話」をプリントして読んでもらうことも始めなければと考えております。

今日まで多くの方々のおかけて生かされてきたことを思わせていたとかねばと思うのでございます。思ひあがつてばかりいる私に、今もあるの祖父母のお念佛が「もつたないことなのだよ」と聞こえてくださることは、ほんとにしあわせなことです。思ひあがつてばかりいる私に、今もあるの祖父母のお念佛が「もつたないことなのだよ」と聞こえてくださることは、ほんとにしあわせなことです。

河の南がわはビンバシヤラ王が統治する活気にみちた新らしい国マカダムの勢力圏です。首都の王舍城には、バラモンの宗教に疑問をいたく学者や宗教者が集まり、思い思いの学説や修行をきそいあつておりました。シッタルタ菩薩は、そこで何よりもまず最新の学問にふれようとされたのです。



## お駕迎様のご生がい

こゝは東インド最大の都王舍城です。見わたすかぎりの大平原の中に突然岩山があらわれ、その岩山に囲まれて王宮や市街のにぎわいがあります。

(つくり方)  
一、なま干するめを塗から程度の適當な大きさに鉛で切る。  
二、醤油「ぶりん」5、酒。。5の割合で、(二)がひたひたになるように漬ける。(ビンでもつぼでも適当な器)

三、時々混ぜて、約一週間後にはいただけます。(本来はコウジ漬けをするのですがコウジのない季節には、それとはまた違つた味でよいかと思います)

お酒の肴に

(材料)なま干するめ 大三枚、醤油 みりん 酒

「いえ、私のもとめているのは國や財宝ではありません。どんなに苦しくとも、いつの日にか必ず真理をきわめ、それを王よあなたにもお教えすることをお約束いたしました。」



の忘れ物あり。寺にあずかつてています

黒の毛糸のカーテン

と書かれ、その意味を

勉強して他人を見下げ  
善いことをしたといつて人に腹を立てる。  
偉い人は言えないネ

と註が書きそえてあります。

やゝもすると私たち、いつも自分中心に物事を考え、「自分がやつた」「あゝもした、こうもした」と、なんでも自分の手柄に思いがちでござります。

そればかりか、その手柄顔で、人を見下げたりあざわらつたり卑しめたり。  
なんと恥かしい私でしょうか。

今日まで多くの方々のおかけて生かされてきたことを思わせていたとかねばと思うのでございます。

思ひあがつてばかりいる私に、今もあるの祖父母のお念佛が「もつたないことなのだよ」と聞こえてくださることは、ほんとにしあわせなことです。

思ひあがつてばかりいる私に、今もあるの祖父母・父母のお念佛に生きた姿を胸にして、ますます聞法に励みたいと思うこのごろでございます。

祖父祖母が、この私にのこしてくれたこのお念佛を称えながら、私も私の老後にむかつて、明るい一日一日をおくり生かされたいと存じます。

思ひあがつてばかりいる私に、今もあるの祖父母・父母のお念佛に生きた姿を胸にして、ますます聞法に励みたいと思うこのごろでございます。

六月十七日、大阪伊丹空港発リAハ〇一便 午四時二十五分)で日本を発ちました。サンフランシスコに着いたのは十七日の午前八時だつたそうです。

なにしろはじめての海外旅行、しかも一人旅でしたので、一から十まで何も彼も正福寺の山崎先生と夫妻のお世話をしなければなりませんでした。

渡米の目的は二つ。荷物運びと留守番です。

いま後藤庄蔵院はカリボルニア大学バークレー校の大学院となり、途中の村々で道をとり、途中の村々で食を乞いながらガンジス川の岸辺におつきになりました。このあたりの川幅は數キロもあります。冬から夏にかけては水が少なく、たくさんの大きな中州が向う岸

をかくします。七月九月の雨期あけまでは激流がうすまきまるで世界のはてのようですが、小さな船で渡ることはまだ不可能です。太子がこの大河を渡られたのは恐らく水かさの少ない時期だつたのでしょうか。

河の南がわはビンバシヤラ王が統治する活気にみちた新らしい国マカダムの勢力圏です。太子がこの大河を渡らされたのは恐らく水かさの少ない時期だつたのでしょうか。

河の南がわはビンバシヤラ王が統治する活気にみちた新らしい国マカダムの勢力圏です。太子がこの大河を渡らされたのは恐らく水かさの少ない時期だつたのですが、やはり寺を留守にしていろいろと門徒の皆様に迷惑をかけております。

永代経もありますので七月四日には帰つてまいります。

ことで、それを巡んではしいということです。

大きな重い荷物を三つも持つて、たたひたすら孫に会いたい一心で行つたのですが、やはり寺を留守にして、いろいろと門徒の皆様に迷惑をかけております。

メリアの学校が就休みになると逆に大学の研究も日本人小学校も集中的に忙がしくなるのだそうです。四歳の男の子と三歳の女の子の守りがいるのです。それにその地には日本のもの向もあるにはあるのだそうですが、ただ仏教の背骨がなかなか手に入らぬという

こと、それと巡んではしいということです。

大きな重い荷物を三つも持つて、たたひたすら孫に会いたい一心で行つたのですが、やはり寺を留守にして、いろいろと門徒の皆様に迷惑をかけております。

渡米もありますので七月四日には帰つてまいります。

日本を発ちました。サンフランシスコに着いたのは十七日の午前八時だつたそうです。

なにしろはじめての海外旅行、しかも一人旅でしたので、一から十まで何も彼も正福寺の山崎先生と夫妻のお世話をしなければなりませんでした。

渡米の目的は二つ。荷物運びと留守番です。

いま後藤庄蔵院はカリボルニア大学バークレー校の大学院となり、途中の村々で道をとり、途中の村々で食を乞いながらガンジス川の岸辺におつきになりました。このあたりの川幅は數キロもあります。冬から夏にかけては水が少なく、たくさんの大きな中州が向う岸

をかくします。七月九月の雨期あけまでは激流がうすまきまるで世界のはてのようですが、小さな船で渡ることはまだ不可能です。太子がこの大河を渡らされたのは恐らく水かさの少ない時期だつたのですが、やはり寺を留守にして、いろいろと門徒の皆様に迷惑をかけております。

河の南がわはビンバシヤラ王が統治する活気にみちた新らしい国マカダムの勢力圏です。太子がこの大河を渡らされたのは恐らく水かさの少ない時期だつたのですが、やはり寺を留守にして、いろいろと門徒の皆様に迷惑をかけております。

永代経もありますので七月四日には帰つてまいります。

## 坊守の渡米